

令和7年5月12日

教職員

各位

大学院生

医学系研究科長

医学獣医学総合研究科長

大学院特別セミナーの開催について（通知）

標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。  
なお、大学院生については、当日出欠の確認をしますのでご承知おきください。

記

日時：令和7年6月27日（金）17時00分～

場所：宮崎大学医学部講義実習棟3階 303教室

講師：萩原 克郎  
（酪農学園大学・獣医学類教授）

演題：「ウイルスを抗腫瘍療法に応用する」  
**Application of Viruses to Antitumor Therapy**

講演内容：ニューカッスル病ウイルス（Newcastle Disease Virus: NDV）は、鳥類に感染するパラミクソウイルス科のウイルスで、全世界に分布する家禽の家畜伝染病の病原体です。このウイルスは、腫瘍（哺乳類）選択的な感染性や腫瘍細胞のアポトーシス誘導能力が注目され、腫瘍ウイルス療法への応用が進んでいます。近年、分子生物学的解析やリバーシジェネティクス技術の登場により、NDVの遺伝子操作が可能になり弱毒化に基づく安全性と選択性の向上を目指した基礎研究が進み、がん治療（腫瘍療法）への応用が試みられています。一方で、ウイルスの腫瘍細胞への感染性が治療のネックになり腫瘍ウイルス治療の障害にもなります。本講演では、組替えウイルスを用いた腫瘍溶解性の特徴と自然免疫を惹起するサイトカイン遺伝子を組み込んだウイルスを犬由来の原発腫瘍に応用した事例を紹介し、組替えウイルスの可能性を解説します。